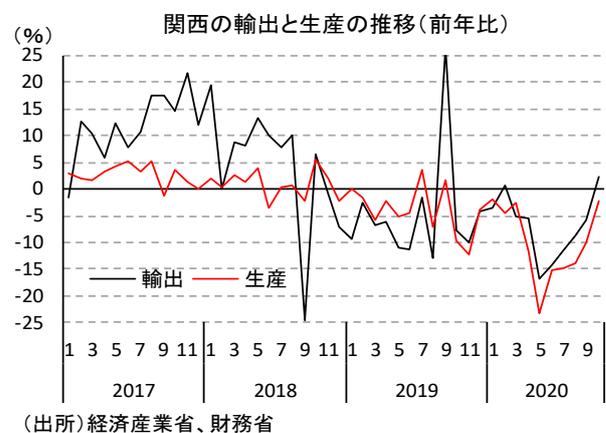
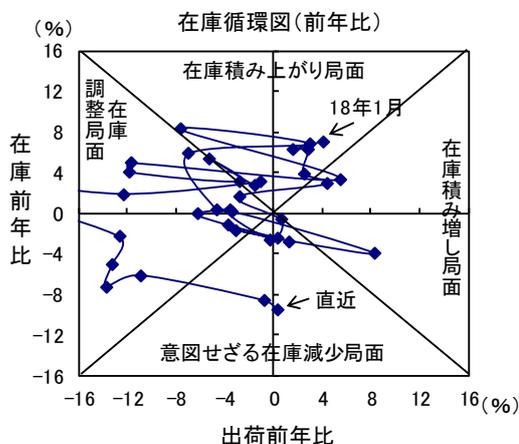
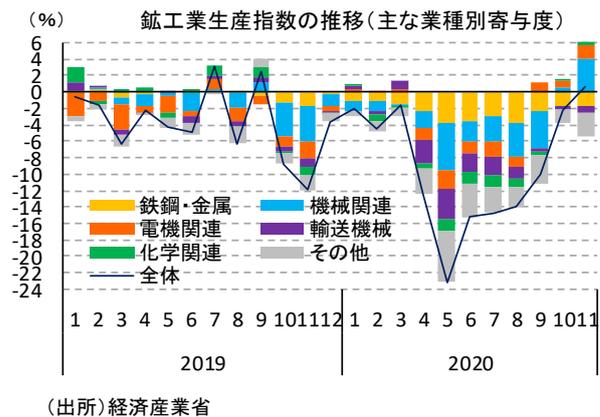
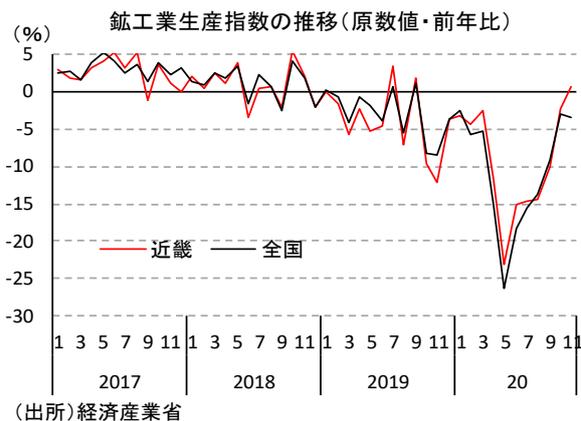


## 関西の景気トピックス【鉱工業指数（20年11月）】

- 20年11月の鉱工業生産動向（近畿経済産業局）の速報データによると、生産（原数値）は前年比で0.6%増と、14か月ぶりの増加となった。業種別の推移では、機械関連が建設・鉱山用機械などを中心に大きく伸びたほか、電機関連も電子部品を中心に改善がみられる。
- 在庫循環の動きをみると、今月も前月と同様に、出荷増に生産が追いつかず、結果的に在庫が減少する「意図せざる在庫減少局面」となっている。
- 生産と輸出の関係を見ると、両者には一定の連動性が存在する。直近の動きでは、両者ともに5月を底に改善傾向が進んでいる。ただし、新型コロナウイルスの感染が世界的に拡大する中、現時点では輸出に大きな影響はみられないが、先行きについては不透明感が強まりつつある。



※近畿の鉱工業指数に関する詳細は近畿経済産業局HPにてご確認ください。